

# 明治期対訳辞書収載漢語語彙に関する一研究

—『英語節用集』所載漢語の『和英語林集成』和英の部収載状況をめぐって—

坂 本 浩 一

## はじめに

明治初期の対訳辞書には新旧取り混ぜ種々の漢語が見られる。これらの漢語が諸辞書間でどのような収載状況にあったものか、個々の辞書資料についての実態調査を積み重ねる必要があることは言うまでもない。

拙稿(2003A・B)においては、『英語節用集』の所載語彙について『哲学字彙』との異同状況を調査報告した。1884年(明治17年)刊行の『英語節用集』には、「宗教及哲学論派名称」を筆頭として「學術名称」「政治家応用語」といった部を中心に『哲学字彙』中の漢語が多く採用されているのであった<sup>(註1)</sup>。

編者佐野正道の「一ハ以テ寒村僻邑ノ諸子ノ為ニシーハ以テ已達弁士ノ備忘ニ供セン」との編集動機に基づいて成った『英語節用集』では、或いは『哲学字彙』から受け継がれる語彙が存し、或いはそうではないものが存し、と複雑な様相があった。『英語節用集』の後、程を経ずに1886年(明治19年)当代対訳辞書の代表とも言える『和英語林集成』の第Ⅲ版が刊行される。果たして、『和英語林集成』側ではそれら『英語節用集』の収載語彙がどのように取り扱われているのであろうか。

明治5年に第Ⅱ版を世に送り出した後、14年の歳月をかけて編者J.C.ヘボン は多くの漢語見出し項目を追加する。すなわち第Ⅲ版「PREFACE」中で、編者はその間の事情を次のように述べるのである。

But owing to the amazing changes and rapid advancement of the Japanese in every department, he has found it difficult to keep pace with corresponding advance of the language in the increase of its vocabulary. (中略) He might have increased this number by almost

as many more, had he thought proper to insert the purely technical terms belonging to the various branches of medicine, chemistry, botany, etc., etc., each of which should have a separate work especially devoted to it. He had to draw a line somewhere, and has limited himself to such words only as are in popular and general use. Most of these words are of Chinese derivation. (※下線筆者)

増補漢語からは、「medicine, chemistry, botany」等の専門学術用語を「popular and general use」のふりいにかけて、採用を見送ったとのことであるが、『英語節用集』にも引かれ用いられるような『哲学字彙』語彙項目の収載状況がどうなっているのかなど、敢えて「philosophy」関連の領域をここに挙示していないことも相まって、大いに興味をかき立てられるところである。ヘボンの「popular and general use」に限るという語彙収載の判断基準はまた、啓蒙的対訳辞書『英語節用集』との対照から自ずとその内実の一端が垣間見えるものであろう。

本稿では、『英語節用集』日本語見出し914項目から漢語見出し項目を抜き出して、『和英語林集成』第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ版との異同状況を見てゆく<sup>(註2)</sup>。

なお、今回は漢語見出し語の調査に専念することにして、ひとまず調査対象から外したものは、和語・混種語と判断した次の各項目である。

尼 Preastess 伺 Application 疑 Dought \* 甥 Cousin 夫 Husband  
神 God 誓 Oath 父 Father 妻 Wife 寺 Church 届 Information  
母 Mather \* 姪 Famale-cousin 夢 Dream 我 Ego 尼寺 Nunnery  
石塚 Pyramids 薬屋 Apothecary 手本 Example 持主 Possessor 町  
役所 Town-house

次いで、以下の固有名詞が関係する項目群についても今回は対象外とした<sup>(註3)</sup>。

比魯教 Pyrrhonism 猶太教 Judaism 路悌教 Lutheranism \* 羅馬教  
Roman-catholicism 阿加母教 Occamism 韓図学派 Kantism 坤度学  
派 Comtianism 薩伯里教 Sabellianism<2組アリ> 度設得教 Docetism  
諾斯士教 Gnosticism 婆羅門教 Brahmanism 麻尼西教 Manicheism  
莫尔們教 Mormonism 羅馬法王 Pope 亜里亜尼教 Arianism 以彼阿  
尼教 Ebionitism 加尔維尼教 Calvinism 加尔多教派 Cartesianism 希  
臘哲学士 Hylicist 士多亜学派 Stoicism 士迦撒学派 Spencerism 格

底学派 Socratism 達維尼学派 Darwinism 厚塗曼学派 Hartmannism  
 歇傑尔学派 Hegelism 布拉多学派 Platonism 刺麻屈学派 Lamarckism  
 比太克羅学派 Pythagorism 猶太教ノ説法者 Cabalist 亜里斯度德学派  
 Aristotelianism 布勒的斯丹德教 Protestantism

それでは、調査結果を以下に示すこととする。

1 『和英語林集成』第III版和英の部に収載されるもの<sup>(註4)</sup>

1-1 『和英語林集成』第I版から収載されるもの(※部分構成要素の収載を含む)

1-1-1 (〇〇〇)型

市 Market 王 Royal 經 Bible 香 Perfume 死 Death 情 Passion  
 説 Mention 僧 Priest 帝 Emperor 塔 Temple 府 City 悪業 Evil  
 -deed 悪念 Evil-thought 悪魔 Satan 悪鬼 Friend 医師 Physician  
 医者 Physician 一揆 Insurrection 一致 Consort 隠者 Eremite 隠遁  
 Seclusion 運命 Destiny 悦服 Obey 演説 Speech 臆説 Hypothetical  
 音楽 Music 改革 Revolution 骸骨 Skeleton 戒心 Caution 改正  
 Meliority 学者 Learned-man 餓死 Staved 関係 Consequence 堪忍  
 Abstain 観念 Idea 感応 Feeling 記憶 Memory 帰化 Naturali-ga-  
 tion \* 規則 Regulation 規則 Rule 帰服 Obedience 究竟 Ultimote  
 \* 宮殿 Palace 行状 Comportment 兄弟 Brother 驕慢 Pride 驕慢  
 Self-conceit 許容 Toleration 気力 Vigour 議論 Debate 金言 Aph-  
 orism 禁止 Confinement 空虚 Vacuum 愚痴 Obtuseness 供物 Sac-  
 rifice 化身 Avatar 外道 Heresy 眷属 Kin 憲法 Consti-tution 後  
 悔 Contriteness 狡猾 Cunning 攻撃 Attack 口実 Pretension 講談  
 Pecture 故郷 Native-place 国政 Polity 国法 Municipal-law 国家  
 State 滑稽家 Jester 混沌 Chaos 宰相 Prim Minister 才智 Intelli-  
 gence 裁判 Judicature 差別 Difference 讚美 Approbation 死骸  
 Corse 地獄 Hell 事実 Fact 子孫 Offspring 嫉妬 Jealousy 支配  
 Domination 慈悲 Grace 慈悲 Grace 自負 Self-confidence 自滅  
 Self-destruction 社中 Company 自由 Liberty 自由 Freedom 叔母  
 Aunt 守護 Conservation 出家 Monk 出板 Edition 正直 Jastness  
 精進 Religious-abstmence 浄土 Purgatory 商人 Merchant 私慾  
 Selfishness 寺領 Parish 神経 Nerve 信仰 Devotion 真実 Real 信  
 者 Believer 信心 Spirituality 心痛 Pang 神道 Shintoism 瑞相

Luchy-omen 衰微 Decline 瑞夢 Luchy-dream 性質 Character 聖人 Holy-man 政府 Government 勢力 Energy 世界 World 石碑 Manumend 節操 Continenence 説法 Preaching 施物 Almonry 戦争 Warfare 葬礼 Interment 争論 Contention 蘇生 Revive 怠惰 Neglectedness 題目 Thesis 智慧 Wisdom 智覚 Feeling 天狗 Cherubim 天堂 Heaven 天命 Providence 道理 Reason 独学 Self-educated 独立 Independence 徒党 Party 涅槃 Nivana \* 農民 Peasant 拝礼 Spplication 博士 Professor 発明 Invention 非議 Reproach 非情 Insensible 病院 Hospital 平等 Eepuality \* 風俗 Manner 服従 Homage 服従 Subjection 不幸 Unfortunate 仏堂 Budder 文学 Literature 平安 Peace <2組アリ> 兵卒 Soldier 平民 Laity 偏執 Bias 弁者 Eloquent 便佞 Flattery 便利 Convenient 遍歴 Extravagated 法師 Clerk 法式 Modus 坊主 Monastic 方便 Mean \* 本寺 Mother-church 魔法 Incantation 無罪 Inno-cence 無常 Changeable 名目 Name 命令 Order 妄想 Fanciful 盲目 Blind 木像 Wooden-idol 門徒 Member 約定 Compact 誘引 Exticement 幽霊 Sprite 預言 Prophecy 落涙 Shed-tear 利用 Utility 両親 Parent 旅館 Hotel 旅行 Travel 靈魂 Soul 伶人 Musician 歴史 History 練熟 Masterliness 憐愍 Pity 牢獄 Jail 老人 Oldman<sup>(註5)</sup> 和睦 Concord 経済学 Economy 支配人 Dominator 新聞紙 News-paper 不思議 Mystery 測量学者 Geometer-metrician 不可思議論 Agonosticism \*

結局、一字漢語は総てこの群に包括された。このことが示唆するように幕末明治初期以前から広く使用されていた漢語が含まれる一方で、いわゆる新漢語と称されるものも散見する。また対訳辞書なるが故に、対応英語との安定的なペアを形成して収載が続けられるものなどが混在することも分かる。今ここに各組の事情をつぶさに解明するには準備が至らないのであるが、今後そうした多面性について英和辞書側からの調査分析を交えるなどして洗い直すべきところである。

1-1-2 (○\*○\*○) 型<sup>(註6)</sup>

高言 Rant (I II 広言、III 高言)

ヘボンの掲出する「KO-GEN」項では第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ版ともに「—wo haku」の用例文が挙げられるものの、第Ⅲ版で用例文に対応する英語訳が削除される。同時に第Ⅲ版では、漢字表示部「広言」→「高言」の交替が見られる。ただし、両語形の類同性は高いように見えて、事情はそう簡単なものでもないらしい。J.H.ガビンスを編者とする1989-1892年（明治21-23年）刊『漢語英訳辞典』<sup>(註7)</sup>では、「広言」は「boastful language ; suru, to boast ; extol one's self」とサ変用法を併せて挙げるが、「高言」は「bombast ; arrogant language」と記述しており、両語形の意味類同性とともに品詞性の相違が示唆されているのである。

### 1-1-3 (○\*○\*○\*) 型

#### 原素 Elements (ⅠⅡⅢ素元)

『和英語林集成』では「GEN-SO」の見出し語形掲出に対して、漢字表示部が各版ともに「素元」となっている。単純な誤植か。なお、『漢語英訳辞典』では「原素」項は存せず、「元素」項のみが掲出される。『英語節用集』の表示語形の拠るところが気になるが、『哲学字彙』第Ⅰ・Ⅱ版も「元素」表示であって、些か根拠に乏しいものと見ざるをえない。

### 1-1-4 (△○○) 型

鉱物学 Mineralogy (Ⅰ 鉱物、ⅡⅢ項中用例) 鉱物学者 Mineralogist (Ⅰ 鉱物、ⅡⅢ項中用例) 無形 Spiritual (Ⅰ 無形体ムギョウタイ、ⅡⅢ無形ムギョウ、Ⅲ無形ムケイも立項)

「無形」は『和英語林集成』第Ⅱ・Ⅲ版において「MU-GIYO」項目が立てられる一方、第Ⅲ版では「MU-KEI」語形でも項が立てられるが、「i.q.mugiyo」との記述のみであり、当代の語形勢力に変化を窺わせるかのような扱いである。なお、『漢語英訳辞典』でも「MU-KEI」見出しのみが立項されており、「MU-KEI」語形による立項収載へといった動向がここにも窺われる。

### 1-1-5 (△△○) 型

解剖学 Anatomy (Ⅲ項中用例、ⅠⅡⅢ解剖) 器械学 Mechanics (Ⅲ項中

用例、I II III機械) 古物学 Archeology (III項中用例、I II III古物) 説法者 Preacher (III項中用例、I II III説法) 大学校 University (III立項、I II III学校) 天文学 Astronomy (III項中用例、I II III天文) 翻訳者 Translator (III項中用例、I II III翻訳) 陸軍省 Army-department (III項中用例、I II III陸軍) 地理学者 Geogra-pher (III項中用例、I II III地理) 萬国公法 International-law (III項中用例、I II III萬国) 必然之理 Necessary-truth (III項中用例、I II III必然)

この群には「一学」の接尾辞を付す語形が第III版で項中用例として追加掲載されているものが多く見られる。ヘボンが第III版序文で述べたように學術専門用語を増補していることの一端が窺えるところである。

上記項目中、最後の「必然之理」については『和英語林集成』では第I・II・III版ともに「必然」を立項するが、第III版で英語を付さない形で「一no koto ; 一no ri」と用例が追加されているため便宜上ここに置いた。

#### 1-1-6 (△△△) 型

下記語群中 ( ) 内の語形は特に版別に記さないものは、第I・II・III版共通の立項語形を示すものである。

年代 Age (年代記) 宇宙論 Cosmism (宇宙) 音楽師 Music-master (音楽) 過去世 Past-world (過去) 観念学 Ideology (観念) 観念力 Ideation (観念) 経済家 Economist (経済) 外科医 Surgeon (外科、III外科医者用例アリ) 孔子教 Confucianism (孔子) 細工所 Work-shop (細工、III細工場) 残忍者 Oppressor (残忍・-na hito 用例アリ) 実体論 Realism (2組アリ) (実体) 修行人 Apprentice (修行、II III修行者) 信心者 Conformist (信心・-na hito 用例アリ) 政治学 Political-science (政事、II III政治) 製造家 Manufacturer (製造) 生命学 Zoonomy (I II性命、III生命) 説法学 Homiletics (説法) 造物主 Creator (造物者) 他宗人 Ethnic (他宗) 地理学 Geography (地理) 智力論 Noology (智力) 博学者 Literator (博学、III-na mono 用例アリ) 筆記学 Penmanship (筆記) 筆記者 Penner (筆記) 秘伝学 Cabala (秘伝) 便宜法 Ex-pediency (便宜) 未来記 Prophecy \* (未来) 未来世 Future-world (未来、III-no yo 用例アリ) 無学者 Ignorant (無学) 無形学 Immaterial-science (前述1-4「無形」項参照) 名目論 Norminalism (名-目) 輸出税 Export-duty (輸出) 輸入税 Import-duty (輸入) 癲病人 Lazar (癲病) 靈魂論 Animism (靈魂) 歴史家 Historian (歴史) 円満幸福 Summum

-bonam \* (円満、III幸福) 解剖学者 Anatomist (解剖) 器械学者 Mechanician (器械、III-gaku 用例アリ) 自愛主義 Egoistic-altruism (自愛) 地震学会 Seismological society (地震) 自然神学 Natural-theology (自然、IIIII神学) 自然神教 Deism (自然) 自然之理 Absolute-truth (自然、理) 実験哲学 Positive-phylosophy \* (I II実検、III実験、III哲学) 自由意志 Free-will (自由) 信心堅固 Orthodoxy (信心、堅固) 青銅時代 Bronge-age \* (青銅) 生命学者 Zootomist (学者、I II性命、III生命) 専門学校 College (専門、学校) 天文学者 Astronomer (天文、III-gaku 用例アリ) 秘伝学者 Cabalist (秘伝) 仏教演説 Buddhism-speech (演説、III仏教) 仏教講談 Buddhism-lecture (講談、III仏教) 無宇宙論 Acosmism (宇宙) 無上大法 Categorical-imperative (無上) 歴史会社 Histrical-society (歴史、IIIII会社) 音楽得業生 Bachelor of music (音楽、III得業生) 生類自生論 Spontaneous-generation (生類、III自生) 人体化醇論 Blastophyly (人体) 人体啓発論 Blastogeny (人体) 世界開闢論 Cosmogony (世界・開闢) 世界形質論 Cosmology (世界、III形質) 靈魂睡醒論 Psychopannychism (靈魂) 事理充足主義 Principle-of-sufficient-reason (事理、III主義)

三字以上で構成される熟語群で、『和英語林集成』中では各々の一部を構成する語形が収載されたものである。

上記の中、「生類自生論」は『哲学字彙』第I版で同様の対訳ペアで掲出されており、一方『和英語林集成』第III版は「自生(mizukara umaruru) Spontaneous generation」であることから、ヘボンが日本語訳語形を部分変更して利用したものである可能性がある。他の諸例を見ても、『和英語林集成』第III版が『哲学字彙』を各所で利用した形跡が見受けられるが、あくまでもヘボンは独自に若干の修正を加えつつ活用している場合が多いようである。なお『哲学字彙』収載語彙と『和英語林集成』の関連については別稿において詳しく取り上げることにする。

1-2 『和英語林集成』第II版から収載されるもの(※部分構成要素の収載を含む)

1-2-1 (一〇〇) 型

一般 General 改宗 Convert 官員 Officer 管轄 Govern 元祖 Originator 教育 Education 偶像 Idol 刑法 Criminal-law 建白 Memo-

rial 参議 Privy councilor 自殺 Suicide 姉妹 Sister 集会 Assemble  
 神学 Theology 信用 Belief 生活 Life 政權 Political-right 贅言  
 Redundancy 洗礼 Baptism 注意 Attention 中裁 Reconciliation 長  
 官 President 反逆 Rebellion 比較 Compare 不朽 Perpetuity 補任  
 Appoint-ment 法則 Method 法律 Law 民政 Democracy 名誉  
 Honor 邪蘇 Christ 右大臣 Shird minister of state 大蔵省 Finance  
 -department 外務省 Foreign-affairs 救世主 Savaur 公使館 Lega-  
 tion 工部省 Public works department 左大臣 Second minister of  
 state 神学者 Theologian (IIIII神学項中用例) 性理学 Physical-sci-  
 ence (IIIII性理項中用例) 大統領 President (IIIII大統、IIIII統領項中用  
 例—gasshu koku no dai—) 太政官 Privy council office 本草家 Bota-  
 nist 本草学 Botany

上記の中、3字漢語では「救世主」「公使館」等が親見出しで立つ一方、「神学  
 者」「性理学」等は項中用例で収載と、扱いには各語によって差が認められる。  
 また、「大統領」のように複雑な動きのものも見られる。「本草家」「本草学」は  
 辞書編集の合理性からすれば「本草」の親見出し項にでも纏められて然るべき  
 とも見られるが、『和英語林集成』では「本草書」といったものも合わせ各々独  
 立の項目として立てられている。

#### 1-2-2 (—○\*○) 型

共和政治 Republic

当例は、『和英語林集成』第II版で「共和政事」の単独語形立項に対して、第  
 III版では「共和」項が親見出しに立てられ、用例としてこの「-seiji」の他に  
 「-koku」「-to」が収載されるといったものである。

#### 1-2-3 (—○\*○\*) 型

成效 Result 総計 Totality

『和英語林集成』第II・III版ともに、「成功」「惣計」の漢字見出しで立項され  
 たものである。『漢語英訳辞典』では「成效」は無く「成功」、「惣計」は無く「総  
 計」の漢字表示が存しており、他資料での情勢が気になる。



1-2-4 (一△○) 型

海軍省 Naval-department 性理学者 Metaphycian \* 説教者 Clergy  
-man

「海軍省」は『和英語林集成』第II版で「海軍」が立項され、第III版で項中の用例に「-sho」が収載される。一方「性理」も第II版立項された後、項中用例として「-gakusha」が追加される。なお、第III版中には「生理学」項も立てられるが、その英語訳語は「Physiology」であって、「性理学」の英語訳語が「性理」と同じく「The laws of mind, metaphysics」であると指示されており、同音異語としての扱いは明瞭である。

「説教者」は、第II版では「説経」項中の用例として、第III版では「説教」項中の用例として掲出されたものである。

1-2-5 (一△△) 型

下記語群中 ( ) 内の語形は特に版別に記さないものは、第II・III版共通の立項語形を示す。

一統律 Universal-law (一統) 因循論 Conservatism (因循) 海上法 Maritime-law (海上) 旧約聖書 Old-testament (II旧約項中-zensho 用例アリ、III旧約項中-zensho 用例アリ、III聖書) 激論党 Ex-tremist (II逆論III激論) 進歩党 Progressive-party (進歩) 封建制 Feudal-system (封建) 一統定則 Universal-postulate (一統、III定則) 大書記官 Chief -secretary (書記、III書記官項中用例) 矛盾主義 Principle-of-contradiction (矛盾、III主義) 邪蘇信者 Christian (耶蘇) 権少書記官 Assistant -secretary (「大書記官」参照) 権大書記官 Assistant chief secretary (「大書記官」参照) 法律制定人 Lawgiver (法律、) 法律背戾人 Law -breaker (法律) 同 (邪蘇紀元) 後 A.C. or After Christ (耶蘇) 邪蘇紀元前 B.C. or Before Christ (耶蘇)

「矛盾主義」については「鉾楯」が第I・II版に立項されるものの、訳語英語が「emnity, malice」につきひとまずここに置いた。

## 1-3 『和英語林集成』第III版から収載されたもの（※部分構成要素の収載を含む）

## 1-3-1 （一〇）型

愛情 Love 愛情 Inclination 異説 Dissent 遺物 Relics 永続 Continued 王国 Kingdom 会議 Convention 解釈 Explanation 化学 Chemistroy \* 科学 Science 学士 Scientist 革命 Revolution 感覚 Sensation 完全 Complete 感動 Impressioon 奇遇 Accident 基礎 Founded 貴族 Noble-man 奇談 Padox \* 教化 Humanization 教会 Congregation 恭敬 Worship 教唆 Instigation 行政 Executive-power 競争 Struggle 虚忘 Absurd 銀行 Bank 軍律 Martial-law 勳勞 Merit 刑罪 Punishment 結果 Effect 結局 Goal 結合 Coalescence 結合 Combination 原因 Cause 建国 Nationali-gation \* 元始 Beginning 堅忍 Perseverance 權利 Right 県令 Governor of provinc 公会 Partiament 公会 Convention 交誼 Friendship 広告 Notification 降生 Incarnation 皇族 Royal-family 公平 Conscientiously 強欲 Lust 語学 Phylology \* 五官 Five-senses 国民 Nation 誤用 Misuse 齒医 Dentist 市区 Municipality 社会 Society 社会 Society 邪執 Prejudice 習慣 Custom 宗教 Religion 主義 Principle 主宰 Ruler 術数 Policy 巡查 Policeman 償還 Payment 商議 Negotiation 条例 Regulation 除籍 Denationalization 除地 Allodium 指令 Order 人種 Race 神聖 Holiness 神仙 Genii 真理 Truth 数学 Mathematics 正教 Orthodox 性法 Law of nature 絶対 Absolute 全權 Absolute-power 全能 Almighty \* 僧正（邪教ノ）Bishop 創造 Creation 租税 Taxation 抵抗 Resist 定論 Theorem 哲学 Phylosophy \* 天賦 Implanted 動議 Motion 闘争 Straggle \* 道德 Morality 同盟 Alliance 独断 Dogma 土葬 Catacombs 特許 Privilage \* 奴隸 Slave 遁辞 Quibble 内閣 Cabinet 内部 Interior 熱心 Zeal 不正 Wrong 布達 Proclamation 仏教 Buddhism 仏陀 Buddha 文明 Civilization 編輯 Compilation 弁理 Transaction 牧師 Pedagogue 未決 Problematic 民情 Nationality <2組アリ> 民法 Civil-law 名辞 Term 名声 Reputation 問題 Problem 門派 Sistem \* 薬舗 Apothecary-shop 有形 Physical 憂愁 Sorrow 有情 Sentient 誘惑 Temptation 要路 Compendium 抑制 Control 樂園 Paradise \* 立法 Legislative-power 理由 Rational \* 良心 Moralsence

\* 理論 Declamation 理論 Theory 連絡 Connection 腕力 Physical  
-force 郵便局 General post office 過激党 Radical-party 鬼神論  
Mysticism 偽善者 Hypocrite 共和党 Democrat 基督教 Christianity  
警視庁 Board of metropolitan police 建築学 Architecture 元老院  
Senate 語学者 Glossologist 司法卿 minister of the justice 司法省  
Justice-department 社会党 Socialist 社会論 Socialism 出世間 Su-  
pramundane 小学校 School 植物学 Botany 書籍館 Bookseller-shop  
人種学 Ethnology 心理学 Mental-science 神理学 Divine-philosophy  
人類学 Anthropology 生理学 Physiology 代言人 Lowyar 多神教  
Polythrism \* 治罪法 Law of criminal procedure 地質学 Geology  
道義学 Moral-philosophy 統計学 Statistics 道德学 Moral-science  
動物学 Doology \* 内務省 Home-department 背教者 Apostate 陪審  
官 Jury 博物館 Nuseum 美妙学 Aesthetics \* 福音書 Gospel 物理学  
Natural-phylosophy 弁護人 Defender 編集人 Compiler 保守党 Con-  
servative-party 郵便局 Post-office 論理学 Logic 自由貿易 Free  
-trade 万有神教 Pansheism \* 物理学者 Natural-philosopher 保険  
会社 Insuranse-company

『和英語林集成』では第Ⅲ版で新規収載という流れにある項目群である。これらが啓蒙的な対訳辞書である『英語節用集』にも収められているということで、一般への普及が足早に進んだ漢語群、もしくは啓蒙辞書にいかにもふさわしいものとして収載される語群の集合体と考えられる。

### 1-3-2 (—○\*) 型

寓言 Phenakism 首府 Capital 殖民 Settled 紳士 Gentle-man 侵入  
Invation 野蛮 Barbaric 預知 Precience \* 与論 Public-opinion 政  
治家 Politician

それぞれ『和英語林集成』第Ⅲ版では、「偶言」「主府」「植民」「紳士」「滲入」「野蕃」「餘知<sup>(註8)</sup>」「輿論」「政事家」の漢字表示で掲出される。参考に『漢語英訳辞典』で表示語形を確認すると、次のようであった(○有・△部分構成要素有・×無)。

寓言 (○) 偶言 (×)/首府 (○) 主府 (○)/殖民 (×) 植民 (○)/  
紳士 (○) 紳士 (×)/侵入 (○) 滲入 (×)/野蛮 (○) 野蕃 (×)/

預知 (×) 餘知 (×)/与論 (×) 輿論 (○)/政治家 (△政治) 政事家 (△政事)

上記の中、「首府」と「主府」はともに『漢語英訳辞典』は「the capital of a country」と全同の英語記述を掲出するなど両語形の併存を示すものの、他語形についての収載漢字表示は「寓言」「紳士」「野蛮」では『英語節用集』に、「輿論」は『和英語林集成』に一致といった状況である。「政治」と「政事」については「一家」の下接は見られないものの、前者がサ変用法（自他両用）を掲出する一方で後者にサ変用法は見られないといった記述内容の相違が確認できた。

### 1-3-3 (――△)

下記語群中 ( ) 内の語形は第Ⅲ版の立項語形を示す。なお、項中用例を含め参考となる語形の情報については、極力挙示するようにした。

化学者 Chemist (化学) 活力論 Vitalism (活力) 感覚教 Sensationalism (感覚) 記号論 Sematology <2組アリ> (記号) 結局学 Teleology (結局) 結晶学 Crystallography (結晶) 現象学 Phenomenology (現象) 原理学 Archelogy (原理) 固有権 Inherent-right (固有) 試験法 Ex-perimient (試験) 自主権 Personal-right (自主) 実物学 Ontology (実物) 自動論 Automatism (自動) 邪神教 Damonism (邪神) 宗教家 Religionist (宗教) 宿命論 Fatalism (宿命) 神経学 Neurology (神経) 神政府 Sheocracy (神政) 推原学 Aetiology (推原) 数学者 Mathematician (数学、Ⅲ-ka 項中用例) 達道論 Deontology (達道) 哲學家 Philosopher (哲学、Ⅲ-sha 項中用例) 道德家 Moralism (道德) 東洋学 Orientalism (東洋) 独断教 Dogmatism (独断) 内務卿 Minister of the imperial household (内務省) 熱心家 Zealot (熱心) 風土学 Climatol-ogy (風土) 物体学 Somatology (物体、Ⅲ-no gakumon 項中用例) 文明人 Civilian (文明) 兵学校 Military-academy (兵学) 名称教 Terminism (名称) 唯心論 Idealism (唯心) 有形学 Material-science (有形) 立法官 Legislative (立法) 压制政治 Tyranny \* (压制、ⅡⅢ政治、ⅠⅡⅢ政事、※以下本群「政治」関連記述省略) 压制政治 Despotism (同前) 隠伏発動 Immanent-act (隠伏) 確定神学 Positive-theology (確定、ⅡⅢ神学) 干涉主義 Interference (干涉、主義) 穴居人種 Troglodyte (穴居、Ⅲ-jin 項中用例、Ⅲ人種) 結晶学者 Crystallographer (結晶、ⅠⅡⅢ学者、※以下本群「学者」関連記述省略) 兼愛主

義 Egoistic-altruism(兼愛、主義) 建築学者 Architect(建築、III-gaku 項中用例) 実物学者 Ontologist(実物) 首領政治 Demagogy(首領) 少書記官 Secretary(書記、III書記官項中用例) 植物学者 Botanist(植物、III-gaku 項中用例) 新約聖書 New-testament(新約、III-zensho 項中用例、III聖書) 生理学者 Physiologist(生理学) 素封政治 Timocracy<2組アリ>(III素封) 地質学会 Geological society(地質学) 地方分権 Decentrali-zation(地方) 統計学者 Statistian(統計、III-ka 項中用例) 動物学者 Zoologist(動物学) 特別創造 Special-creation(特別、創造) 農商務省 Agricultural and commercial department(農務省) 物体学者 Somatist(「物体学」参照) 亡命送還 Extradition(亡命) 薬局会社 Apothecaries-company(薬局、IIIII会社) 唯一神教 Unitarianism(唯一、III-shinto 項中用例) 論理学者 Logician(論理、III-gaku 項中用例) 医学得業生 Bachelor of physic(医学、得業生) 機関化醇論 Organophyly(機関) 機関啓発論 Organogeny(機関) 元老院議長 President of senate(元老院、III-gikwan 項中用例) 社会化醇論 Cosmophyly(社会) 社会啓発論 Cosmogeny(社会) 上等裁判所 Supreme-court(上等、IIIII裁判所) 法学得業生 Bachelor of law(法学、得業生)

学問・政治領域において体系的な造語が盛んであったことを窺わせ、「～学者」「～主義」「～政治」「～得業生」など、後部成素が共通する語形が目立つ。専門用語を多く増補したとする『和英語林集成』であるが、接尾辞を添加した語形一つ一つにまでは細かに収載に及んでいないのは辞書編集上の合理主義であり、その点で対訳英語と対にして専門術語を掲げる『英語節用集』と、ひいては『哲学字彙』あたりの辞書との編纂方針の相違であったと考えるべきであろう。ただし、ヘボンの収載採否の基準を推し量るには到底この規模の調査では不十分であることは言うまでもない。

#### 1-3-4 (――△\*) 型

決疑論 Casuistry 元子論 Monadology 野蛮人 Barbarian

各々『和英語林集成』第III版では「決議」「原子」「野蕃」の項が存した。『漢語英訳辞典』を参照すると、各語形の収載状況は次の通りであった。

決疑 (○) 決議 (○)/元子 (×) 原子 (×)/野蛮 (○) 野蕃 (×)  
なお「元子」「原子」はともに存しないが、「元素」語形の掲出は確認できた。「決

疑」「決議」に関しては次の通り、『漢語英訳辞典』では記述に明瞭な差異が見られる。

Ketsu-gi 一疑, suru, to cast aside suspicious ; lay aside doubt ; also used in he (ママ) sense of Kes-shin 一心.

Ketsu-gi 一議, (of the action of a few persons, of an assembly, or of a parliament) a decision or settlement arrived at after deliberation ; (wo) suru, to discuss and settle ; deliberate over and decide ; suru, to deliberate and arrived at a decision.

「決疑論」は、『英語節用集』中「宗教及哲学論派名称」部に収められる。『哲学字彙』でも第Ⅰ版から「(論)」(第Ⅱ版では「(倫)」)記号付きで掲載され、論理学・倫理学用語として存在している。一方の「決議」は『哲学字彙』に「決議書(政)」の形で収載された政治・議会用語という事情を『漢語英訳辞典』は明瞭に説明し分けていると言える。「決心」と同義と説くガビンスには或いは「決疑」は学術専門用語としての色が多少薄れたものとの認識もあったのだろうか。

## 2 『和英語林集成』第Ⅲ版和英の部には見出し立項されないもの

### 2-1 (――) 型

悪漢 Wretch 異教 Gentilism 意思 Will 逸士 Hermit 允許 Consent  
永存 Persistence 演者 Speech-man 屋宇 Edifice 会員 Member 悔  
改 Repentance 外部 Exterior 覚他 To lead consciousness of other-  
selves 楽譜 Music-book 家政 Economics 画像 Portrait 慣習  
Habit 関税 Custom 願望 Requisition 義気 Patriotism 偽計  
Deceite 機制 Mechanism 詭弁 Sophism 客舎 Public-house 虐政  
Cruel-Government 逆説 Paradox 逆理 Anrea-sonable \* 驚愕  
Wonder 教官 Teacher 虚無 Void 虚誉 Vain-glory 虚霊 Spiritual  
existence 君政 Monarchy 敬謹 Respectful 激因 Stimulus 賢者  
Wise-man 現世 Present-world 公準 Postu-late 固執 Bigotry 後  
住(寺ノ) Provisor 克己 Self-denial 詩家 Poet 市街 Street 詩学  
Poesy 自覚 Self-consciousness 自決 Self-determination 自護 Self-  
defence \* 自制 Self-control 自責 Self-reproach 執意 Volition  
寺法 Conon-Law 囚人 Prisoner 習成 Factitious 宗徒 Apostle 叔父  
Uncle 種属 Race 純権 Absolute-right 常住 Unchangeable 昌盛

Prosperity 情緒 Emotion 上天 Heaven 少輔 Assistant vice minister 女王 Queen 諸生 Scholar 自利 Self-benefit 心意 Mind 進化 Evolution 真如 Reality 信約 Credit 審吏 Justice of the peace 推理 Inference 崇奉 Adration \* 請願 Petition 正義 Justice 正義 Justice 清浄 Purity 誠信 Faith 政法 Political-law 政法 Policy 碩儒 Polymathy 漸化 Variation 撰択 Selection 体制 Organization \* 大輔 Vice-minister 大本 Fundamental-principle 単純 Similar 知府 Governor of department 通理 Universal-truth 帝国 Empire 定道 Predestination 天権 Natural-right 天使 Angel 天真 Natural 怒恚 Rage 同情 Sympathy 鐘樓 Belfry 德権 Moral-right 内政 Administration 廢式 Modus-tollen \* 拝像 Idolatry 廢滅 Ruin 駁撃 Refutation 発動 Act 反情 Antipathy 蕃民 Savageness 秘教 Esotericism 悲痛 Lamentation 謬信 Superstition 貧院 Alms 布弘 Propagation 巫女 Witch 婦女 Woman 仏弟 Buddhist 不能 Impossible 法権 Legal-right 法制 Law 朋党 Party 墓地 Church-yard 味趣 Taste 無碍 Unconditioneal \* 明許 Express-consent 妄論 Paralogism 默許 Tacit-consent 有体 Corporeal 用式 Modus-ponens 預察 Presumption 理想 Ideal 利他 Altruism 律令 Canon 略説 Summary 輪廻 Transmission 廉節 Temperance 一院制 Unicameral-system 一元論 Monism 韻学者 Poetaster 演繹法 Deductive-method 厭世教 Pessimism 回々教 Mohamedanism 懷疑学 Scepticism 概念論 Conceptualism 觀相学 Physiognomy 慣用法 Common-law 議事院 Council-chamber 帰納法 Inductive-method 共産党 Community 共産論 Communism 郷導人 Flugel-man 行法官 Ministry 虚無論 Nihilism 経練律 Emperical 擊剣家 Fencer 犬儒教 Cynicism 限知学 Agnoiology 合祭廟 Pantheon 功利学 Utilitarianism 後擬法 Ex post facto law 古生学 Paleontology 祇虔教 Pietism 史伝学 Biology 寂靜教 Quietism 十字軍 Crusade 十字形 Cross 守法教 Methedism \* 主樂教 Eudemonism 上法院 Quecns-bench 助記法 Topology 進化論 Theory of Evolution 信神教 Theism 新信者 Proselyte 新生論 Episenesis \* 神統記 Theogony 清浄教 Puritanism 制定法 Statute-law 正理論 Rationalism \* 積聚力 Cumulative 世態学 Sociology 全成教 Perfectionism 体形学 Morphology 大本論 Elementology 達徳論 Aretology 致知学 Epistemology 中学校 Academy 超理論 Supranaturalism 通語人 Inter-

preter 伝気術 Mesmerism 天眼通 Vision 天使論 Angelology \* 天  
 理学 Phylosophy of nature \* 二院制 Bicameral-system 二元論  
 Dualism 拝星教 Sabaism 拝物教 Fetichism 必至論 Necessitar-  
 ianism 百年紀 Century 病理学 Pathology 物力論 adynamism \*  
 弁証法 Dianoiology 法理学 Jurisprudence 保身律 Habeas-corpus  
 梵天王 Brahma 無信者 (西教ノ) Pagan 無物論 Catalepsy 文部省  
 Educational-department 唯物論 materialism 唯覚論 Sensualism  
 唯神論 Spiritualism 唯理論 Naturalism 楽天教 Optimism 理財学  
 Political-economy 両神教 Ditheism 倫理学 Ethical-science 連用法  
 Modus-operandi 回教信者 Mahometan 懷疑理学 Sceptical-phyloso-  
 phy \* 寡頭政治 Oligarchy 貴顕専治 Aristo-cracy 寄宿学校 Bord-  
 ing-school 虚偽弁論 Paralogism 挙手政治 Cheiro-cracy 君主専制  
 Despotism 君主専治 Absolute-monarchy 君民政治 Constitutional  
 -monarchy 経練哲学 Emperical-phylosophy \* 言辞学者 Linguist  
 合理神学 Rational-theology 混容学派 Syncretism 三位一体 Trinity  
 氏族割拠 Gentile-system 実践理学 Practical-phylosophy \* 思弁哲  
 学 Speculative-phylosophy \* 主我学派 Egoism 主楽学派 Hedonism  
 石器時代 Stone-age 赤脚仙人 Gymnosophist 先史時代 Prehistorical  
 -age \* 専制政治 Absolutism 思考哲学 Theoretical-phylosophy \*  
 総合哲学 Synthetic-phylosophy \* 族宗政治 Patriarchal-government  
 太政大臣 First minister of state 治外法権 Exterritoriality 超絶哲学  
 Transcendental-phylosophy \* 鉄器時代 Iron-age 同一主義 Princi-  
 ple-of-identity 病理学者 Pathologist 法官総長 Lord chief justice  
 法理学者 Zurist 裸形外道 Gymnosophy 立憲政治 Consti-tutional  
 -government 聯邦主義 Federalism 官能化醇論 Physiophyly 官能啓  
 発論 Physiogeny 形神合一論 Hylogoism \* 高等裁判人 Chancellor  
 細包化醇論 Histphyly \* 細包啓発論 Histogeny 靈氣遍在論 Psychism  
 有機体化醇論 Phylogeny 有機体啓発論 Ontogeny

『和英語林集成』第III版に収載されない語群は上記の(――)型のみであ  
 り、啓蒙的辞書『英語節用集』に収載されるいわば当代対訳辞書においては脚  
 光を浴びる漢語群は、第I版や第II版収載後に廃止されたものはなかったこと  
 になる。辞書の継承性・発展性という観点からすれば、(〇――)・(〇〇――)型  
 が見られないのはむしろ順当とも言えようか。



## まとめ

以上の調査結果をまとめれば、各型に属する異なり語数と比率とは次の通りである。

表 I

| 『和英語林集成』収載型      | 異なり語数 (%) |         |
|------------------|-----------|---------|
| 1-1-1 (○○○) 型    | 1 8 9     | (30.9)  |
| 1-1-2 (○*○*○) 型  | 1         | (0.2)   |
| 1-1-3 (○*○*○*) 型 | 1         | (0.2)   |
| 1-1-4 (△○○) 型    | 3         | (0.5)   |
| 1-1-5 (△△○) 型    | 1 1       | (1.8)   |
| 1-1-6 (△△△) 型    | 6 6       | (10.8)  |
| 1-2-1 (-○○) 型    | 4 4       | (7.2)   |
| 1-2-2 (-○*○) 型   | 1         | (0.2)   |
| 1-2-3 (-○*○*) 型  | 2         | (0.3)   |
| 1-2-4 (-△○) 型    | 3         | (0.5)   |
| 1-2-5 (-△△) 型    | 1 6       | (2.6)   |
| 1-3-1 (---○) 型   | 1 7 4     | (28.5)  |
| 1-3-2 (---○*) 型  | 9         | (1.5)   |
| 1-3-3 (---△) 型   | 6 9       | (11.3)  |
| 1-3-4 (---△*) 型  | 3         | (0.5)   |
| 2-1 (---) 型      | 2 5 8     | (39.0)  |
| 計                | 6 1 1     | (100.0) |

表 I からまず窺えるのは、『英語節用集』に収載される漢語には『和英語林集成』に収載されない 2-1 (---) 型が最多となることである。無論これらの中には、三字以上の漢語で構成要素の二字熟語等が既に他で立項済みといった、辞書編集上重複的な不経済性回避の処理が施された結果であると見てよいものも多い。1-3-3 (---△) 型が 1-3 型群内で目立つのは、その所為なのである。

しかし、やはり一方で『和英語林集成』編者の「popular and general use」に基づく採否基準が各語形に適用される際に果たして揺るぎないものとして働いたものかどうかについては、些か訝しさを禁じ得ないのも事実である。へ

ボンが利用したと思しき資料の一々に粘り強く吟味をかけて行くことによってのみ、これらの疑問を解決する手立ては得られるのであろう。

ここでは、2-1 (---) 型に挙げられた258語形を『英語節用集』の所収部別に分類して、『和英語林集成』に収載されていないものがどの領域に多く存するのかを確認しておきたい。

表II

| 『英語節用集』<br>各所収部名称 | A: 2-1型<br>異なり語数<br>(%) | B: 各部<br>総項目数 | C = A / B<br>(非収載率) | D = 100 - C<br>(収載率) |
|-------------------|-------------------------|---------------|---------------------|----------------------|
| 宗教及哲学論派名称         | 58 (22.5)               | 135           | 43.0                | 57.0                 |
| 学術名称              | 13 (5.0)                | 61            | 21.3                | 78.7                 |
| 宗教家応用語            | 65 (25.2)               | 284           | 22.9                | 77.1                 |
| 人品及官位             | 31 (12.0)               | 160           | 19.4                | 80.6                 |
| 政治及法制             | 42 (16.3)               | 123           | 34.1                | 65.9                 |
| 政治家応用語            | 34 (13.2)               | 93            | 36.6                | 63.4                 |
| 堂屋及処名             | 10 (3.9)                | 40            | 25.0                | 75.0                 |
| 年代及歴史             | 5 (1.9)                 | 18            | 27.8                | 72.2                 |
| 計                 | 258 (100.0)             | 914           | 28.2                | 71.8                 |

表II中、A欄の内部で見ると「宗教家応用語」部「宗教及哲学論派名称」部の二部で比率が高い。しかしC欄（非収載率）で見れば、「宗教及哲学論派名称」部は最も『和英語林集成』側で収載されない語が多い部なのである。そしてこの部はまた、拙稿（2003A）・（2003B）で指摘した通り、『英語節用集』中最も『哲学字彙』第I版の影響を色濃く受けた部でもある。ここにおいて、最も「philosophy」世界の香り高く最も『哲学字彙』らしさを漂わせた部の所属語彙が、ヘボンの「popular and general use」の制限フィルターに濾し取られてしまったさまを確認したといっちは言いすぎであろうか。なるほど、『和英語林集成』第III版増補語彙から一般普遍の用に貢献しない専門的「philosophy」語彙は編者の手によって選り分けられ除去された、のである。

ここで再び表I中『和英語林集成』に収載された型群を見遣れば、既に第I版から収載される1-1型群が、漢語の大幅増補がなされた第III版から収載の1-3型群よりも実は多く存することが分かる。結局、1-1型・1-2型群を合わせれば271語形44.3%に上り、1-3型群を上回るのである。『和英語林集成』という辞書が、特殊な専門的な対訳辞書としてというよりはむしろ平易で

実用的な日本語確認の補助となり修得の援助ともなる存在として成長発展していった過程をここに読みとることは、さほど難しいことではない。松村明氏が夙に「基本的な性格は国語辞書として考えるべき」と看破された<sup>(註9)</sup>へボン辞書と英和の部の性格を再確認するばかりである。

なお、1—1型群・1—2型群の『和英語林集成』との重なりはまた、『英語節用集』による『和英語林集成』第I・II版の利用という新たな検討課題を提示するのであって、それは英和の部の検討を交え慎重に行う必要があるだろう。こうしたさらなる調査が、『和英語林集成』収載語彙の採否事情の問題とともに『英語節用集』の成立事情の一端をも、より一層明らかにして行くはずである。

今回の結果を踏まえつつ、当代対訳辞書資料群の探究調査を引き続き行うこととしたい。

## 注

- 1 『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』(大阪女子大学 1991)中、『英語節用集』項(原口裕先生執筆担当)に既に御指摘がある。拙稿(2003B)では『英語節用集』漢字見出し項目と『哲学字彙』各版との照合を試みている。
- 2 本稿で『和英語林集成』第III版と称するのは、特に断りが無い場合「和英の部」を指すものとする。確認に用いたものは、第I版・第II版が九州大学蔵本、第III版は講談社学術文庫を利用した。英語見出し側からの検討、すなわち「英和の部」に関しては別稿において行う予定である。

なお、本稿では漢語見出し語形には参考として『英語節用集』の対応英語表示を添えたが、英語に「\*」記号の付されたものは資料の原態を示すためにそのまま表示したものである。

- 3 これら固有名詞群の中でも、例えば「羅馬教」などは『和英語林集成』では第III版において立項されるなどするが、ほとんどが『和英語林集成』和英の部には立項されない。この種の固有名詞が、どれほど一般化して辞書掲載に至るものかは興味深い話題であり、注目すべきところである。
- 4 ( )中の「○」「×」記号の3列表示は、左から順に『和英語林集成』第I・II・III版における見出し項目の有無を示しており、「○」には項目中の子見出し用例に存する場合も含めることとする。(○○○)であれば、第I版有・第II版有・第III版有といった要領。また、「△」は例えば「年代記」について「年代」項が存するといったように、漢語構成要素の主要部分が見出し等に存在すると判断した場合を示す。

各語に添えた( )中の注記では「I、II、III」はそれぞれ『和英語林集成』第I版、同第II版、同第III版の略である。

なお、〈2組アリ〉は『英語節用集』中で当該の日本語－英語ともに全同である組が2回掲出されていることを示すが、対応英語見出しが異なるものは双方を並べて掲出した場合がある。

- 5 「老人」項は、『和英語林集成』第II版で親見出し語として立項されないようであるが、第I版から収載されていることからひとまずこの群に置く。
- 6 型表示中の「\*」符号が添付された部分は、各々の版で漢字表示の一部が当該語形の漢字に近似した漢字等に置換して存在しており、かつ英語記述部分を判断して類同概念項目と見なされた場合を示す。
- 7 『漢語英訳辞典』は九州大学蔵本を使用し、同資料の落丁部分については今回京都大学蔵本で補った。PART I・II・IIIが各々1989年・1891年・1892年に刊行されたものである。概要については拙稿(2000)・(2001)を参照されたい。
- 8 『和英語林集成』第III版で漢字表示は「餘知」であるが、「arakajime-siru」の和らげから単純な誤植と見られる。
- 9 『洋学資料と近代日本語の研究』(東京堂出版 1970) 392頁。

## 既発表調査報告

拙稿(2000)「明治期対訳辞書と漢語辞書とをめぐる一考察—『漢語英訳辞典』を中心に—」

『香椎潟』第46号 2000年12月

拙稿(2001)「漢語対訳辞書と周辺対訳資料とに関する一報告—『漢語英訳辞典』・『日本口

語文典』所載語彙集・『和英語林集成』をめぐって—」『香椎潟』第47号 2001年12月

拙稿(2003A)「明治期対訳辞書に関する一研究—『英語節用集』所載英語項目をめぐって

—」『文芸と思想』第67号 2003年2月

拙稿(2003B)「明治期対訳辞書『英語節用集』に関する調査報告—所載漢字見出しをめぐっ

て—」『香椎潟』第49号 2003年6月